

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・ 落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費 (資料購入費) 事務費・事務所費・人件費		
内 容	公明新聞購読料		
年 月 日	3年 11月 5日～	年 月 日	金 額 1,887 円

目 的	県政社会情勢に関する情報収集
使 途	11月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、庶民的政策等の情報を静岡県の県民政策に活用する。

《領収書貼付枠》

新聞購読料 領 収 証

落合 慎悟 様

ご購入ありがとうございます。
下記を前受金として領収いたしました。
2021年11月

領収金額	¥1,887
------	--------

※税法改正等により購読料金が変わった場合、差額をご請求またはご返金させていただきます。



販売店 大塚 秀訓
住 所 藤枝市青南町4-9-45
TEL 054-631-9270 FAX 054-631-9271

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞	1887	1	1,887

案分の理由 全て政務活動に使用	領収書金額 (a)	案分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
	1,887円	100%	1,887円

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・ 落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費 (資料購入費) 事務費・事務所費・人件費		
内容	日経新聞電子版+産業新聞ビューアー 購読料		
年月日	3年 12月 10日~	年 月 日	金額 7,427 円

目的	県政社会情勢に関する情報収集																								
使途	11月分購読料																								
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、庶民的政策等の情報を静岡県の県民政策に活用する。																								
<<領収書貼付枠>> 日経新聞 (宅配+電子版+日経産業新聞ビューアー) JCBカード支払い 日経ID決済 11/1 月額7,427円 <table border="1"> <tr><td>07</td><td>03-11-30</td><td>[REDACTED]</td></tr> <tr><td>08</td><td>03-11-30</td><td>[REDACTED]</td></tr> <tr><td>09</td><td>03-11-30</td><td>[REDACTED]</td></tr> <tr><td>10</td><td>03-11-30</td><td>[REDACTED]</td></tr> <tr><td>11</td><td>03-12-06</td><td>[REDACTED]</td></tr> <tr><td>12</td><td>03-12-06</td><td>[REDACTED]</td></tr> <tr><td>13</td><td>03-12-10</td><td>[REDACTED]</td></tr> <tr><td>14</td><td>03-12-10</td><td>JCB カード 9,616 [REDACTED]</td></tr> </table>		07	03-11-30	[REDACTED]	08	03-11-30	[REDACTED]	09	03-11-30	[REDACTED]	10	03-11-30	[REDACTED]	11	03-12-06	[REDACTED]	12	03-12-06	[REDACTED]	13	03-12-10	[REDACTED]	14	03-12-10	JCB カード 9,616 [REDACTED]
07	03-11-30	[REDACTED]																							
08	03-11-30	[REDACTED]																							
09	03-11-30	[REDACTED]																							
10	03-11-30	[REDACTED]																							
11	03-12-06	[REDACTED]																							
12	03-12-06	[REDACTED]																							
13	03-12-10	[REDACTED]																							
14	03-12-10	JCB カード 9,616 [REDACTED]																							

案分の理由	領収書金額 (a)	案分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
全て政務活動に使用	7,427円	/	7,427円
		100%	

ご利用ありがとうございます。ご利用明細を案内しますのでご確認ください。*お支払いは毎月10日(金融機関休業日の場合は翌営業日)に指定のお支払い口座より自動振替となります。ご入金日は前日(金融機関営業日)までにお願いします。口座未設定の場合は、カード発行会社までご連絡ください。*お支払い合計金額がマイナスになった場合は、指定のお支払い口座にお振り込みします。

2021年11月25日

カード名称	
カード番号(一部非表示)	
今回のお支払日	2021年12月10日(金)
今回のお支払金額合計	9,616円

金融機関名	
支店名	
口座番号(一部非表示)	
口座名義	オチアイ シンコ

2021年11月15日 現在

ANAマイル自動移行コース (10マイル)					
当月獲得	ご使用ポイント		累計ポイント	次回失効予定日とポイント数	
	内ボーナスポイント	内ボーナスポイント		内ボーナスポイント	内ボーナスポイント
9	0	-9	0	9	0
				2024/12/15	9

●ボーナスポイントはANAマイルへ自動移行されないため、お客様ご自身でANAマイルやOki Doki商品への交換手続きをお願いします。
 ボーナスポイントは、Oki Dokiポイント1ポイント=ANAマイル3マイルとして移行が可能です。(500ポイント以上1ポイント単位で交換可能)
 ●本年スターメンバーズ集計金額11万円。50万達成で翌年はスターβ、100万達成でスターα、300万達成でロイヤルαです。

ご利用日	ご利用先など	ご利用金額(円)	支払回数	お支払金額(円)	摘要
		落合	慎悟	様	
2021/10/1	ショッピング取組(国内)				
2021/11/1	日経ID決済	5,900	1回	5,900	
2021/11/1	日経ID決済	1,527	1回	1,527	
◆お支払小計				9,616	
◆◆今回のお支払金額総合計				9,616	

●支払区分:1回=ジョブ1回払い、2回=ジョブ2回払い、S1=ボーナス1回払い、U1=ジョブ1回払い、3~24=ジョブ分割払いの回数、S1=ジョブ1回払い、C1=ジョブ1回払い、海C=海外ジョブ1回払い ●今回回数:何回目のお支払いかを表す ●法人カードの下4桁は「1***」と表示され、実際のカド番号とは異なります

整理番号	2-3-11-4
------	----------

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費 (資料購入費) 事務費・事務所費・人件費		
内容	しんぶん赤旗 日曜版 購読料		
年月日	3年 11月 5日～	年 月 日	金額 930円

目的	県政社会情勢に関する情報収集
使途	11月分購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、庶民的政策等の情報を静岡県の県民政策に活用する。

《領収書貼付枠》

落合 慎悟 様

新聞・雑誌名 部数 金額

しんぶん赤旗 日曜版 1 930

日本共産党発行の **しんぶん赤旗**

領収書

930 円

2021 年 11 月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

日本共産党
中部地区委員会
島田市細島682-4
0547-36-9122

領収日 / 扱者 XXXXXXXXXX

案分の理由	領収書金額 (a)	案分率 (b)	政務活動費支出額 (a×b)
全て政務活動に使用	930円	100%	930円

整理番号	2-3-11-5
------	----------

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・落合慎悟)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報謝金・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	福島県原子力災害廃炉・復興状況調査		
年月日	令和3年11月17日～令和3年11月19日	金額	91,532円

目的	東日本大震災、福島第一原発事故から10年。福島県浜通り地区の復興状況を調査する。		
使途	交通費、宿泊費		
政務活動・ 県政との 関連性	東南海トラフ地震津波による静岡県地震津波防災・浜岡原発事故対策として、福島県の復興対策、廃炉研究、放射能汚染度処理状況等、調査研究する。		
《領収書貼付枠》			
JR交通費	西焼津駅から常磐線いわき駅往復	24,880円	ノ
	トヨタレンタカー費(仙台いわき線)	34,852円	ノ
宿泊費	ホテル丸屋	14,500円	ノ
	仙台ホテルメトロポリタン	15,800円	ノ
駐車場代		1,500円	ノ
	総合計	91,532円	ノ

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
すべて政務活動に使用	91,532円	100%	91,532円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

駅-No 520141 領収書-No 44
窓口-No 1
領 収 書

様

金額 ￥24,880円
「消費税等込み」

但し、乗車券類(クレジット扱い)として

2021年11月17日
東海旅客鉄道株式会社

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

西焼津駅

現金出納社員

JR 常磐線
西焼津駅 ↔ いわき駅

ホテルメトロポリタン 仙台

領 収 証

A 精算No. 000022
発券機 #01 発券No. 088793
入庫時刻 2021年11月18日(木) 15:56
出庫時刻 2021年11月19日(金) 8:07
駐車時間 16:11
駐車料金 B料金 1,500円
店062(割05) 1枚 B料金

=====
合 計 1,500円
お預り 1,500円
お 釣 0円

上記正に領収致しました。

=====

C制 乗車券 (ゆき) (幹)

西焼津 → いわき

經由: 東海道・磐城・新幹線・東京・常磐

11月17日から11月24日まで有効

¥***

2021.11.17 西焼津駅-MR発行
00203-01 (3-夕)R541C00

C制 乗車券 (かえり) (幹)

いわき → 西焼津

經由: 常磐・東京・新幹線・磐城・東海道

11月17日から11月24日まで有効

¥13,860

2021.11.17 西焼津駅-MR発行
00203-02 (3-夕)R541C00

C制 特急券

品川 → いわき

11月17日 (13:45発) (16:09着)

ひたち15号

¥2,550

3号車 5番A席

C50

Ⓢ

2021.11.17西焼津駅-MR (3-夕) R541 00203-04

C制 特急券

いわき → 品川

11月19日 (17:21発) (19:52着)

ひたち24号

¥2,550

8号車 5番D席

C10

Ⓢ

2021.11.17西焼津駅-MR (3-夕) R541 00203-05

C制 新幹線特急券

静岡 → 品川

11月17日 (12:41発) (13:35着)

ひかり 5048号 全席指定 6号車 10番E席

¥2,860

C50

Ⓢ

2021.11.17西焼津駅-MR (3-夕) R541 00203-03

C制 新幹線特急券

品川 → 静岡

11月19日 (20:10発) (21:02着)

ひかり 6638号 全席指定 12号車 6番E席

¥3,060

C36

Ⓢ

2021.11.17西焼津駅-MR (3-夕) R541 00203-06



貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書) Rental Agreement

お客様控
2-3-11-5
RA610R

貸渡人 株式会社トヨタレンタリース新福島
いわき駅前店
いわき市平字田町63-10

発行年月日: 令和 3年11月19日
貸渡No.: 6095736

電話番号0246-85-5539

借受人 名称 落合慎悟 様
住所 静岡県藤枝市築地838

項目	予定料金	精算料金
基本料金	26,950	23,650
カード割引額(0%)	0	0
その他割引額(10%)	2,695	2,365
*	0	0
小計	24,255	21,285
免責補償料	3,300	X 3,300
特別装備料	0	0
添付品料金	5,280	X 5,280
ワンウェイ料金	0	0
燃料代		3,687
引取配車料	0	0
ETC利用代	0	9,880
ご利用額	32,835	43,432
リース無償代車		0
NOC		0
免責実費料		0
お支払額	32,835	43,432
内消費税	2,985	3,948
予約金	0	0
船乗車券	0	0
当日預り金	0	0
預り金合計	0	0
マイル・ポイント利用	0	0
ご請求金額	32,835	43,432

<お貸しする車両>

貸渡車両 プリウス1.8(15/12- 燃料 ガソリン
登録No. 福島 300わ2750

料金クラス C3-K 車両クラス C3-K

<ご利用内容>

	予定貸渡	貸渡	メーター(Km)
着	11月19日18時00分	11月19日16時30分	25,150
発	11月17日15時30分	11月17日15時30分	24,540
利用分	2日 2時間30分	2日 1時間00分	610

料金種別 一般料金 料金割引率 10%

添付品 安心Wプラン 1 車種指定
ETCカード(有償) 1

乗車人数 1名

返却営業店舗 いわき駅前店 0246-85-5539 返却府県県内

運転者氏名 落合慎悟 様

税率ごとに合計した対価の額

税込金額

10%対象

43,432

<トヨタレンタカーマイル>

会員番号 [REDACTED]
利用マイル 0
付与マイル 43
11月19日現在のマイル 183

合計 34,852



トヨタレンタカー予約センター

0800-7000-111 無料

http://rent.toyota.co.jp

クレジット	43,432 DC
ごの請求支払金額内訳	

領収書

領収書No. 0602685

令和 3年11月19日

落合慎悟 様

Receipt

領収金額 43,432 円

(内消費税 3,948 円)

現金・小切手 0 円
クレジット 43,432 円
交通系IC 0 円

収入印紙

トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。
ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。
(なお、抜者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)

営業店舗 いわき駅前店
住所 いわき市平字田町63-10
電話番号 0246-85-5539

株式会社トヨタレンタリース新福島

本社 福島県郡山市字州向十番地1

抜者印



Toyota Rent-a-Car is an official rental car partner of Hertz. Should you have any questions regarding this Rental Agreement/Receipt, please do not hesitate to ask the Toyota rental counter staff, or contact your home country's Hertz Customer Service Center. Thank you for renting from Toyota and Hertz.

< ETC 明細 >

No. 3296
利用明細書

2021年11月19日 16:09
入口料金所番号 004024
出口料金所 いわき中央
車種 普通車
通行料金 ¥1030円
合計 ¥1030円

No. 3297
利用明細書

2021年11月19日 12:49
入口料金所 相馬
出口料金所 常磐富岡
車種 普通車
通行料金 ¥1440円
合計 ¥1440円

No. 3298
利用明細書

2021年11月19日 11:17
入口料金所 福島飯坂
出口料金所番号 001988
車種 普通車
通行料金 ¥290円
合計 ¥290円

No. 3299
利用明細書

2021年11月19日 09:15
入口料金所 仙台宮城
出口料金所 福島飯坂
車種 普通車
通行料金 ¥1990円
合計 ¥1990円

No. 3300
利用明細書

2021年11月18日 15:38
入口料金所番号 001988
出口料金所 仙台宮城
車種 普通車
通行料金 ¥1870円
合計 ¥1870円

No. 3301
利用明細書

2021年11月18日 14:28
入口料金所 浪江
出口料金所 相馬
車種 普通車
通行料金 ¥1050円
合計 ¥1050円

No. 3302
利用明細書

2021年11月17日 17:01
入口料金所 いわき中央
出口料金所 南相馬
車種 普通車
通行料金 ¥2210円
合計 ¥2210円

合計 9880

領収書

発行日: 2021年11月17日
番号: 0003313852-01001

ホテル丸屋グラン

975-0004

福島県南相馬市原町区旭町2丁目28番地

電話番号: 0244236221

落合 慎悟

様

¥ 14,500

(内消費税等 ¥ 1,318)

但し、御宿泊代として

収入
印紙

予約番号

RESERVE # 3313852

宿泊日

Date 2021年11月17日 ~ 2021年11月18日

ご利用明細

日付	明細	単価	数量	金額
2021年11月17日	宿泊料 (812/大人:1名)	¥ 14,500	1	¥ 14,500
合計				¥ 14,500

(内消費税等 ¥ 1,318)

ご入金明細

日付	明細	単価	数量	金額
2021年11月17日	UCグループ		1	¥ 14,500

県外調査概要書

令和3年11月20日

会派名 自民改革会議

議員氏名 落合慎悟

目的	東日本大震災被災地、福島県の原子力発電廃炉研究状況・浜通り地区の経済産業政策を調査し、静岡県防災政策・経済政策に活用する。
年月日	令和3年11月17日～19日
場所	福島県県庁・南相馬市、双葉郡大熊町など浜通り地区の東日本大震災被災地
内容	<p>1 行程</p> <p>11/17 09:30 西焼津出発～県庁～静岡～東京～いわき 16:30 いわき駅前トヨタレンタカー～南相馬 17:30 宿舎、南相馬市ホテル到着</p> <p>11/18 08:00 宿舎出発 09:00 南相馬市 ロボットテストフィールド視察 11:00 浪江町 福島水素エネルギー研究フィールド視察 18:00 宿舎 仙台市 ホテルメトロポリタンに到着</p> <p>11/19 08:00 宿舎出発 09:45 福島県庁 福島イノベーション・コースト構想推進機構事業視察 13:00 富岡町 廃炉環境国際共同研究センター富岡施設視察 15:00 大熊町 中間貯蔵工事情報センター視察 16:30 いわき駅前トヨタレンタカー車両返却 17:24 いわき出発 21:30 西焼津に到着</p> <p>2 対応者</p> <p>11/18 福島ロボットテストフィールド ██████████ 産業部長 益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構 ██████████ 専務理事 福島水素エネルギー研究フィールド 浪江町役場 産業振興課 松本孝徳課長補佐</p>

産業振興課新エネルギー推進係 二本木俊介主査

11/19 福島イノベーション・コースト構想推進機構

福島県企画調整部福島イノベーション・コースト構想推進課

佐々木宏臣主幹兼副課長 渡部陽介主任主査

廃炉研究国際共同研究センター 富岡施設

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 技術広報統括

中間貯蔵工事情報センター

様

3 聴取内容

福島イノベーション・コースト構想

福島県庁議会棟会議室で企画調整部福島イノベーション・コースト構想推進課佐々木主幹より、構想全般について説明を受けた。

平成 26 年に構想がまとまり、30 年に内閣総理大臣認定された。基本目標は「復興需要が一巡した後も、全国と同様に域内 GDP が成長し、自立的・持続的な産業発展が実現することを目指す。」目標年度は令和 12 年頃。

重点推進 4 分野に加え、医療関連、航空宇宙分野の産業集積も重点分野とした。

地域を実証フィールドとして活躍する企業を平成 28 年から呼び込み、令和 3 年 9 月現在で工場等の新增設立地補助金支援 383 件、雇用創出 4,388 人。

令和 3 年度の取組は、実用化補助金採択企業の事業化伴走支援、廃炉関連産業マッチング支援、廃炉スタディツアー等あらゆるチャレンジが可能な地域実現に向けた取組を推進している。

6つの主要プロジェクト (6分野)

廃炉

- ▶ 福島第一原発の廃炉を加速するための国際的な廃炉研究開発・人材育成
- ▶ モックアップ試験施設等を活用した遠隔操作機器・装置の開発、実証試験、事故で発生した放射性廃棄物や燃料デブリの性状等を把握するための分析・研究

ロボット

- ▶ 陸・海・空のフィールドロボットの研究開発や操縦訓練等を行う「福島ロボットテストフィールド（世界に類をみない一大研究開発拠点）」の整備とその周囲のロボット関連企業の集積
- ▶ 「World Robot Summit 2020」の一部競技の開催

エネルギー・環境・リサイクル

- ▶ 太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーの導入拡大と「スマートコミュニティ」の構築
- ▶ 世界最大級（1万kW級）の再生可能エネルギー由来の水素製造技術の実証
- ▶ 石炭灰の再生利用やリチウムイオンバッテリーの再利用によるリサイクルの推進

農林水産

- ▶ ICTなど先端技術を活用した施設園芸栽培の推進
- ▶ 担い手不足に対応した土地利用型の大規模生産プロジェクト

医療関連

- ▶ 研究開発から事業化までの一貫した支援と参入の促進

航空宇宙

- ▶ 産業の裾野の拡大・産業クラスターの形成
- ▶ 空飛ぶクルマ関連産業の集積

福島イノベーション・コースト構想 産業・振興 34

ロボット・ドローン

■福島ロボットテストフィールド（南相馬市）

R3年10月現在、企業や大学等、計21団体が入居。拠点を活用して様々な研究開発を実施。



■ワールドロボットサミット2020福島大会

国際的なロボット競技会のインフラ点検・災害対応部門が、R3年10月にロボテスで開催。本県3チームが上位入賞。



■福島浜通りロボット実証区域

自治体仲介でR3年9月末現在、ロボット試験612件を誘致。



エネルギー・環境・リサイクル

■水素社会の実現

世界最大級の再エネ由来水素製造拠点である福島水素エネルギー研究フィールド（浪江町）を最大限活用し、水素社会の実現を目指す。

燃料電池自動車導入支援

H29年度から累計99件（R3年9月末時点）

燃料電池バス導入支援

R2年4月：東北地方で初となる営業路線運行開始

県有施設等への燃料電池導入 R2年6月：2施設で稼働開始



燃料電池バス 出典：新常盤交通(株)

■スマートコミュニティの推進

相馬市：平成30年3月 構築完了
新地町：平成30年11月 構築完了
楢葉町：令和2年3月 構築完了
浪江町、葛尾村：令和2年12月 構築完了



葛尾スマコミ蓄電池 出典：葛尾村HP

■阿武隈山地・沿岸部共用送電線の整備

総延長約80kmのうち約53kmが供用開始し、約231MWの太陽光発電所が運転開始（R3年10月時点）



大熊開閉所 出典：福島送電(株)

福島イノベーション・コースト構想 産業・振興 35

廃炉

■廃炉関連産業集積基盤構築事業

県内企業の廃炉産業への参入促進のため、マッチング支援、1F構内視察、資格取得支援等を実施。



■第1回交流会の開催

R3.10.11開催
元請企業 7社
県内企業 39社参加



医療関連

■浜通り地域等医療・福祉機器

導入モデル事業

R3採択状況

- 機器改良支援 2社
- 導入支援（無償貸出）3社
- 施設数・台数 21施設・28台



介護用AIロボット（くらかん）

■メディカルクリエーションふくしまの開催

初のオンライン展示会として開催
OR2.10.16～17開催
157企業・団体出展
3,232人来場
OR3.10.28～29開催（予定）



農林水産業

■農林水産分野の先端技術展開事業（一部抜粋）

【現地実証研究】

先端技術を活用した施設野菜・畑作物の省力高収益栽培技術の確立

【社会実装】

- ・ICT活用による和牛肥育管理技術の社会実装
- ・タマネギの直播栽培の社会実装

■被災地域の再生

- ・水稲や畑作物の大規模生産の実践
- ・新たな花き産地形成
- ・園芸施設の導入



ICT活用による和牛肥育管理



タマネギ直播栽培

航空宇宙

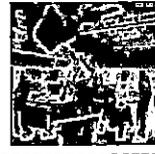
■航空宇宙産業集積推進事業

- ・認証取得、設備導入の経費補助を実施（R3年度県内3事業者申請）
- ・県内8事業者にてエアロマート名古屋商談会への出展を支援



■航空宇宙フェスタの開催

- ・R2.11.27（金）、11.28（土）開催（参加者3,000名）
- ・R3.11.19（金）、11.20（土）開催（予定）

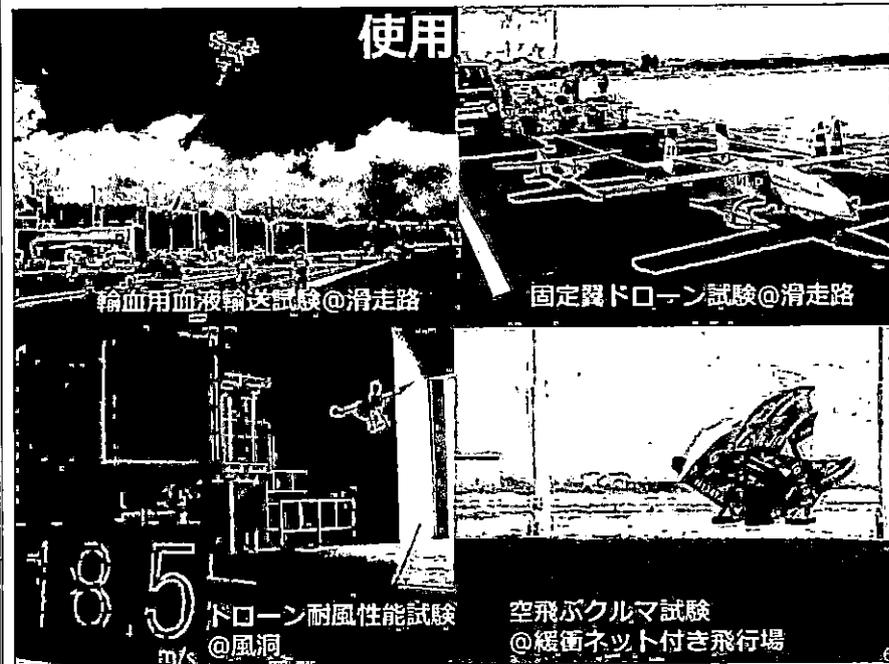


福島県議会棟議会運営委員会室で説明を受けた。

浜通り主要道路には放射線量表示がある。0.2～2.1μ/Svだが大熊町は線量が高い。

福島ロボットテストフィールド

陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点。インフラや災害現場など実際の使用環境を再現しており、ロボットの性能評価や操縦訓練等ができる世界に類を見ない施設。本拠点は、南相馬市復興工業団地内の東西約1,000m、南北約500mの敷地内に下図の様に4エリアを設けるとともに、浪江町に長距離飛行試験のための滑走路を整備している。



広大な実証フィールド 緩衝ネット付き飛行場 本宮幸治事業部長と

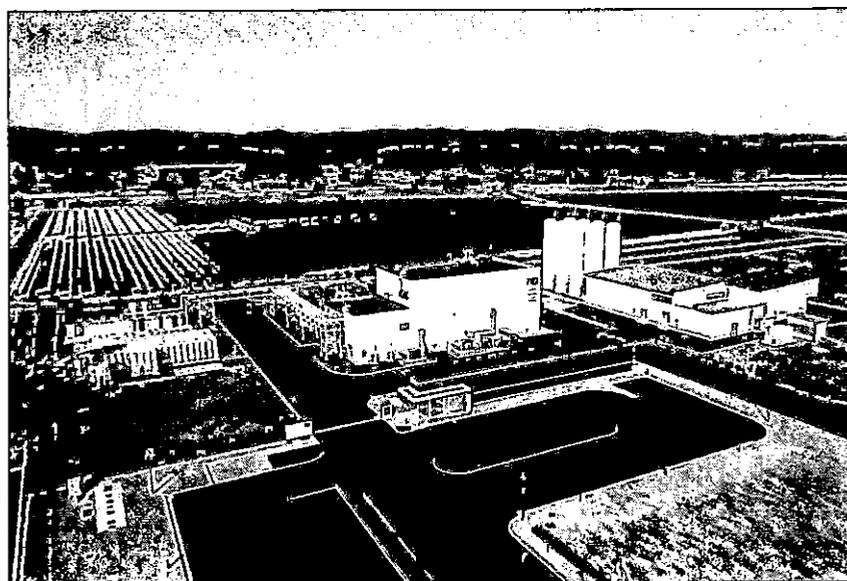
福島水素エネルギー研究フィールド

浪江町の棚塩産業団地は東北電力が原子力発電所建設用地として所有していたが、原発事故後無償で浪江町に寄付をした土地である。

浪江町は NEDO に事業主体となってもらい、平成 30 年に団地造成とともに水素エネルギー研究フィールドの着工を行ない、令和 2 年 3 月に開所した。

太陽光発電の電力を利用し、旭化成の技術で水の電気分解で水素ガスを取出ししている。浪江町では道の駅「なみえ」に 150 m²カードル×2 基設置して 3.5kw 燃料電池で電源供給と温水の水道を整備した。また公用車としてトヨタ新型ミライを導入している。

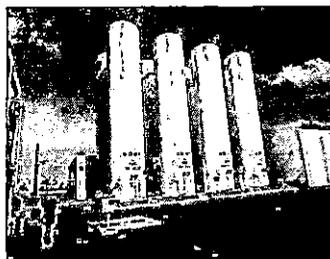
今後は低コストな水素サプライチェーン実証実験、柱上パイプライン実証を行ない水素利活用の取組を推進していく。



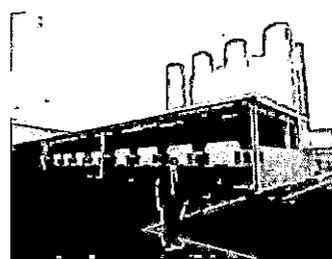
水素エネルギー研究フィールドの全景



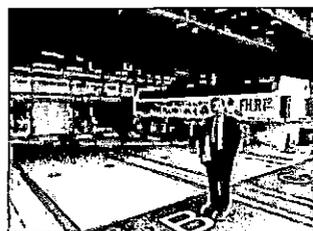
松本産業振興課長補佐と



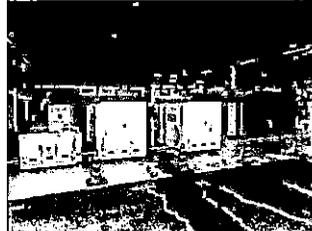
水素タンク 8 基



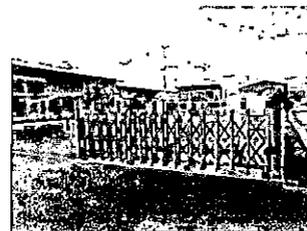
水素タンクローリー車



水素充填装置



小型水素タンクカードル



道の駅「なみえ」燃料電池

廃炉環境国際共同研究センター

廃炉において直面する課題に対処する為、平成 29 年、富岡町に国際共同研究棟を整備し、国内外の廃炉の研究開発及び人材育成の拠点として、レーザー遠隔分析技術、放射線可視化検出技術、放射性微粒子の挙動解明などの研究を行なっている。

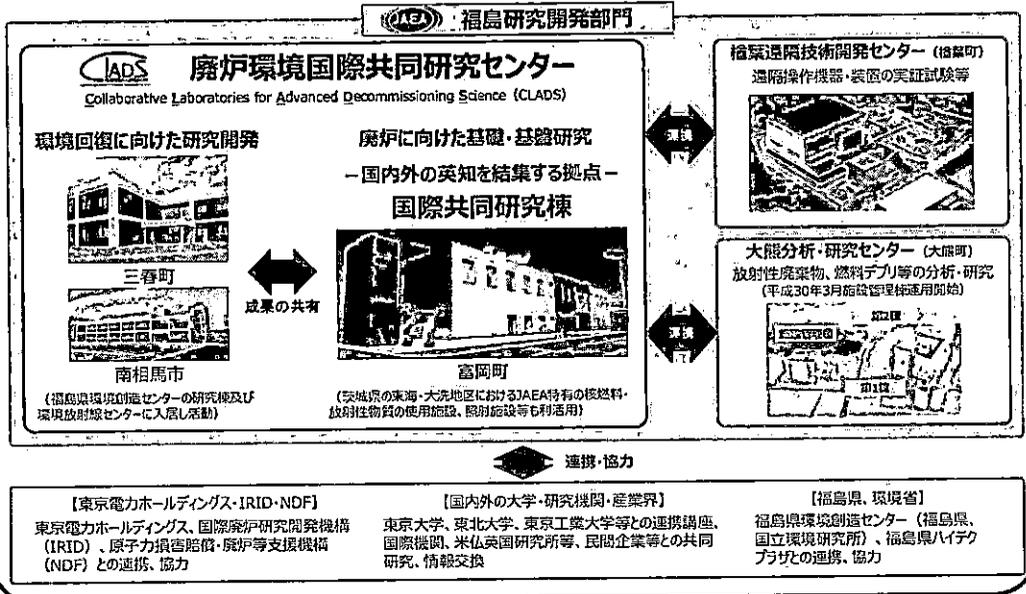
楢葉遠隔技術開発センターと大熊分析・研究センターが連携している。



廃炉環境国際共同研究センターの概要

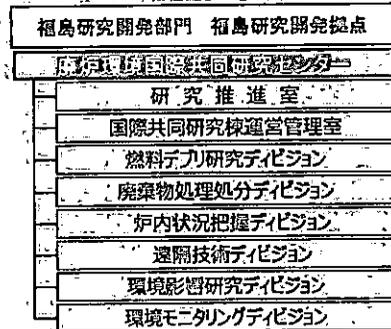
～国内外の英知を結集する拠点～

「国際共同研究棟」を中核拠点とし、国内外の大学、研究機関、産業界等の人材が交流できるネットワークを形成しつつ、産学官による研究開発と人材育成を一体的に進める体制を構築して、福島第一原子力発電所（1F）の廃止措置及び福島環境回復を推進します。



廃炉環境国際共同研究センターでの具体的な取組

(I) 国内外の英知を結集する場の整備



(II) 国内外の廃炉研究の強化

- 海外からの研究者の招聘
- 海外の研究機関等との共同研究
- 廃炉に必要な研究分野について、外部の研究者、専門家を含めたWGを形成し活動
- 「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」の創設



福島リサーチカンファレンス (FRC) の開催

(III) 中長期的な人材育成機能の強化

- 「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」の採択機関とともに産学官連携ラボラトリーを開設し、人材育成に取り組む
- NDFと連携し、廃炉に関わるプラントメーカーや地元の技術者等を対象に「廃炉人材育成研修」を実施
- 多様な人材を集めるためにクロスアポイントメント制度等を活用



(IV) 情報発信機能の整備

- 国立国会図書館と連携し、国、東京電力、研究機関等が発信する情報、JAEAの研究成果を含む文献情報をIAEAの原子力事故情報分類に従って整理し、「福島原子力事故関連情報アーカイブ」として発信



(研究開発成果取組等も活用)



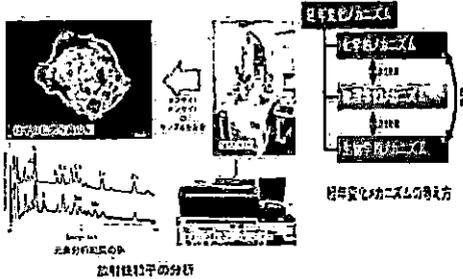
燃料デブリ研究ディビジョン

～1F廃炉に向けて、燃料デブリ、放射性微粒子、計量管理・線量評価、水素安全等の廃炉作業時のリスクの低減・管理に貢献する研究開発を行います～

燃料デブリの挙動解析

廃炉作業に資する基礎基盤研究として、燃料デブリの経年変化メカニズムの解明や放射性粒子の分析に取り組む。

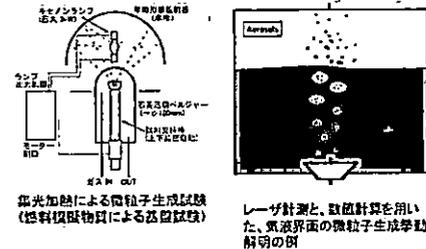
- ◆ 燃料デブリの経年変化メカニズム等の解明
 - ⇒ 燃料デブリの経年変化メカニズムを解明し、その状態を予測することにより、長期にわたる廃炉作業の実施において潜在的なリスクや技術課題の抽出への貢献を目指す。
- ◆ 放射性粒子に関する研究
 - ⇒ 放射性粒子を多岐多様な手法を用いて分析することにより、様々な情報を引き出し、SA解析コードの高感化、原子炉建屋内に存在する残留FP分布評価など事故の実態解明への貢献を目指す。



放射性飛散微粒子の挙動解明

廃炉作業において、マイクロスケールの放射性飛散微粒子が大量に生成される。閉じ込めを確実にするため、その挙動を明らかにする。

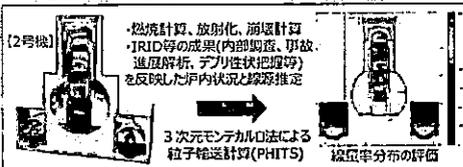
- ◆ 放射性飛散微粒子の生成・輸送・移行挙動解明
 - ⇒ デブリ取り出し時に発生する放射性飛散微粒子の生成・輸送・移行挙動を解明する。水中・気中・気液界面における微粒子挙動の知見取集や測定技術開発を行い、取り出しの実作戦やバウンダリ設計に必須の知見を提供する。
- ◆ 閉じ込め確保戦略と線量評価
 - ⇒ 湿潤ガストのフィルタ選定や放射性微粒子の原子核反応範囲の空間線量率に関する基礎的評価を行い、核ばく評価や安全クライテリア設定のための知見を提供する。



計量管理・線量評価研究

格納容器内及び燃料デブリ周辺の線量率を予測するとともに、燃料デブリ中の核物質量を非破壊で測定する技術を開発する。

- ◆ 格納容器内の線量率分布予測
 - ⇒ 理論計算と内部調査による実測値等に基づき、格納容器内の線量率分布を予測し、廃炉工程の最適化に資する。
- ◆ 燃料デブリ容器に適用する非破壊測定技術の開発
 - ⇒ 核物質量を評価し、デブリ安全管理方針の構築に貢献。



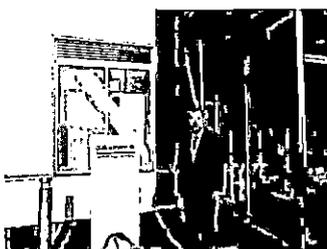
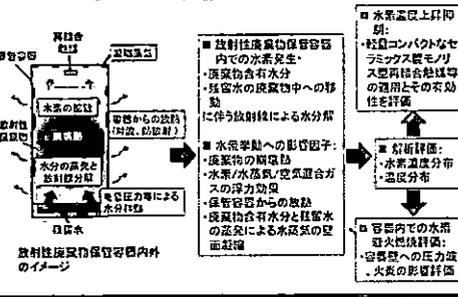
燃料デブリを収納する容器を対象として、アクティブ中性子法、パッシブガンマ法、アクティブガンマ法に基き、内部の核物質定量評価のための非破壊測定技術の開発を実施。



水素安全管理技術の研究開発

放射性廃棄物の長期保管時に、放射線水分解により発生する水素の挙動評価と水素濃度上昇抑制のための技術開発に取り組む。

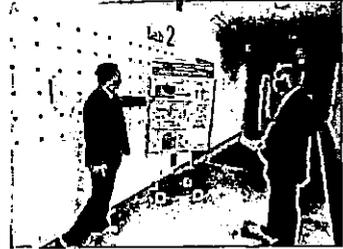
- ◆ 水素の挙動評価
 - ⇒ 放射性廃棄物の腐蝕熱や水素混合ガスによる浮力効果を加えて、水素拡散・成膜挙動、再結合触媒効果を評価し、実機の水素安全管理に適用する。併せて、水素の着火燃焼により発生する圧力波、火災の容積膨への影響を評価する。
- ◆ 水素濃度上昇抑制のための技術開発
 - ⇒ 水素再結合触媒を用いて、無動力で受動的に水素濃度の上昇を抑制する技術を開発する。水素の挙動評価にて有効性を確認し、実機への適用を図る。



玄関横で



廃炉ビジョンの説明



廃炉技術のパネルで説明

中間貯蔵工事情報センター



建物入口にて



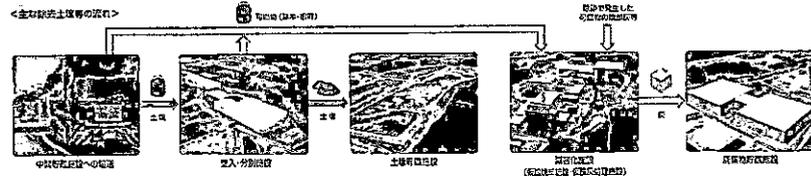
放射能汚染土の処理説明



双葉町は帰還困難地区

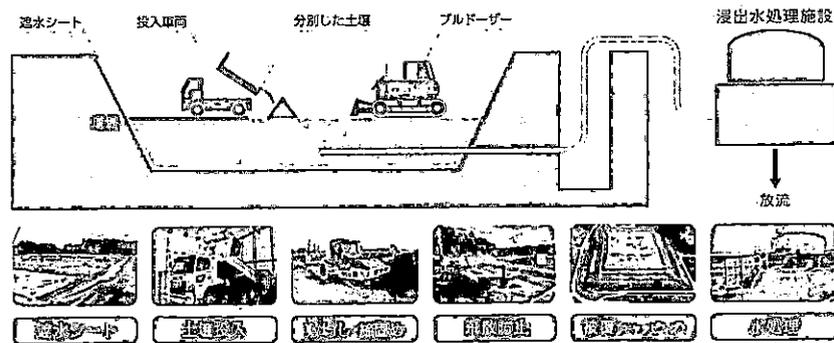


除染で発生した土壌や廃棄物について、1600haの広大な土地に受入・分別施設、土壌貯蔵施設などの施設を設備して、最終処分までの間、貯蔵しています。



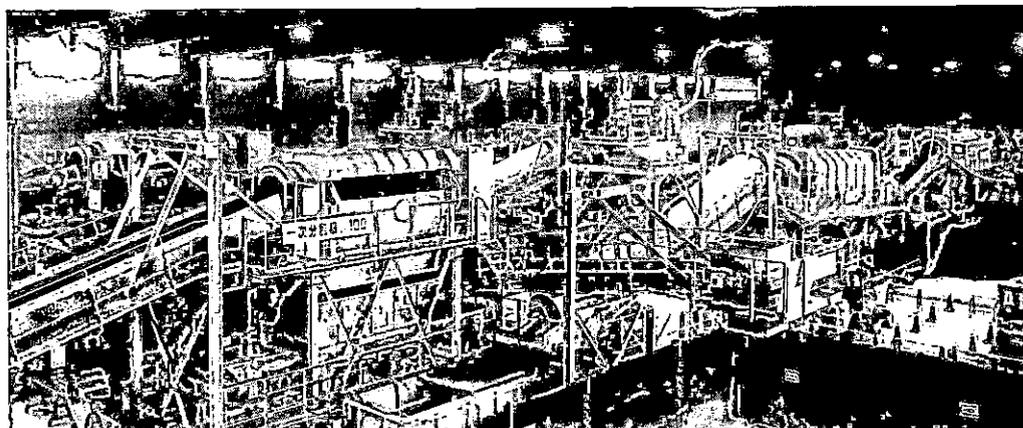
土壌貯蔵施設

受入・分別施設で分別した土壌を安全に貯蔵するための施設です。遮水シートを二重に敷くことにより、貯蔵している土壌に触れた水(保有水)が外部に漏れないような構造となっています。保有水は浸出水処理施設に集めて処理し、放射性セシウムの濃度などを測定し、問題ないことを確認してから放流します。



受入・分別施設

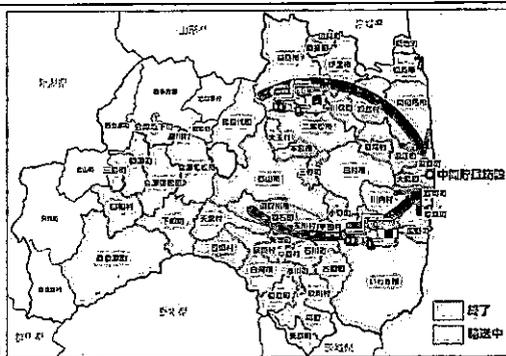
福島県内各地の仮置場等から輸送された除去土壌が入った袋（大型土のう袋）を破り、大型のふるい機で可燃物（袋、草木・根）等の異物を取り除くための施設です。分別された土壌等は、土壌貯蔵施設（土壌）、仮設焼却施設（可燃物）に運ばれます。



中間貯蔵施設への輸送

福島県内 52 市町村で生じた除去土壌等は 2021 年度までに、中間貯蔵施設への概ね搬入完了を目指して輸送を行っています。また、帰還困難区域から生じた除去土壌等についても、順次輸送を進めています。

(2021年1月時点)



4 県政への反映

静岡県には浜岡原発があり、1号機と2号機の廃炉作業が行われている。今年の8月に全長100mの排気筒撤去工事開始、11月26日に切断撤去完了した。

廃炉作業や放射能汚染処理は人の命に係わる危険な難工事である。

核物質処理技術の確立は喫緊の課題として取り組んでいく。

福島第一原発事故で福島県の浜通り地域は悲惨な状況に陥ってしまった。10年

余経った今も放射線量が高く帰還困難地区が残っている。放射能汚染土の処理も残り20年間で県外に搬出する約束となっている。

汚染土の処理技術と共に再生処理土の活用についても今後注視していく。

福島イノベーション・コースト構想での地域産業活性化策の水素エネルギーやドローンロボット技術の応用は静岡県の産業育成に大いに活用できる。研究開発企業の育成のための研究テストフィールドを県内に確保する提案をしていきたい。

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

福島県

議会事務局
政務調査課

主幹(兼)課長補佐
よしの けん いち
吉野 健一
YOSHINO Kenichi

福が開、福のしま。



〒960-8670 福島市杉妻町2番16号(本庁舎3階)
TEL(024)521-7610 FAX(024)521-7965
E-mail: [Redacted]

福島県

企画調整部
福島イノベーション・コースト構想推進課

主幹兼副課長
(調整担当) ささき ひろおみ
佐々木 宏臣
SASAKI Hiroomi

ひらき、つぎ、
実現可能
ふくしま

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号(本庁舎5階)
TEL(024)521-8510 FAX(024)521-7911
E-mail: [Redacted]

福島県

企画調整部
福島イノベーション・コースト構想推進課

主任主査 わたなべ ようすけ
渡部 陽介
WATANABE Yousuke

ひらき、つぎ、
実現可能
ふくしま

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号(本庁舎5階)
TEL(024)521-7853 FAX(024)521-7911
E-mail: [Redacted]

公益財団法人

福島イノベーション・コースト構想推進機構

専務理事 [Redacted]



〒960-0100
福島県福島市中町二番一九号 中町ビル六階
電話 (024) 581-1168
FAX (024) 581-1689
E-mail: [Redacted] URL: http://fipo.or.jp/



福島県浪江町役場
産業振興課

課長補佐 **松本 孝徳**

〒979-1592

福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田 7 番地 2
TEL 0240-34-2111 (内線 383)

FAX 0240-34-2135

E-mail namie150@town.namie.lg.jp



福島ロボットテストフィールド

事業部長 [Redacted]

公益財団法人
福島イノベーション・コースト構想推進機構

〒975-0036 福島県南相馬市原町区堂浜字新赤沼83番
TEL:0244-25-2472
FAX:0244-25-2479
E-mail: [Redacted]
URL: http://www.fipo.or.jp/robot/



産業団地 H.P.



国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
福島研究開発部門
企画調整室

技術広報統括 [Redacted]

〒970-8026

福島県いわき市平大町7-1平セントラルビル
TEL 024-524-1085(直通)
E-Mail [Redacted]
URL http://www.jaea.go.jp



福島県浪江町役場
産業振興課新エネルギー推進係

主査 にほんぎ しゅんすけ
二本木 俊介

〒979-1592

福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL: 0240-23-5713 FAX: 0240-34-2135

Email: namie-0872@town.namie.lg.jp

産業団地 H.P.

